

環境の都ニュース

2020.4.1 NO.103

“環境の都”をめざして

発行

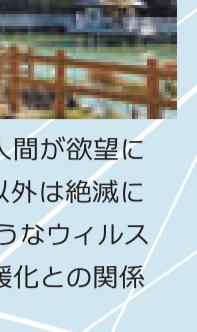
長岡市環境の都づくり会議

責任者：江川 宗治

編集者：安楽 裕子

“新型コロナウイルス”と地球環境

オンラインアースを認識しましょう！



今年は1月の下旬頃から新型肺炎の発症が問題となり、その後急激に拡散して世界中が新型コロナウイルス肺炎で非常事態となっています。

新型肺炎は、中国の1都市で発生した疾患が2,3ヶ月で世界五大陸に拡散するという未曾有の感染力と拡散スピードを世界中に知らしめました。

WHO(世界保健機構)はパンデミック(伝染病の世界的大流行)を宣言しましたが、その感染拡大の早さに地球が小さくなつたような錯覚を覚えた人も多いのではないでしょうか？

SDGs(Sustainable Development)は「持続可能な開発目標」と訳されていますが、人間が欲望に任せてアマゾンの密林等、秘境と言われる所まで開発を拡げたり、動植物も利用可能なもの以外は絶滅に追い込んだり、核兵器開発や化学兵器開発、生物兵器開発等にうつつを抜かしていると、このようなウイルスが出現しやすくなったりするのではと危惧するのは私だけではないと思います。また、地球温暖化との関係もささやかれています。

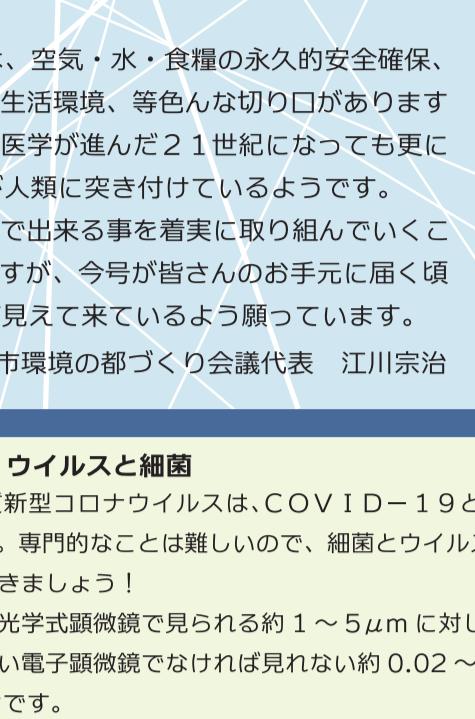
広い宇宙に地球は一つしかなく、大きとも出来ません。代わりになるものも無いでしょう。地球上に住める人口もおのずと限度があると思われ、世界中の人々が手を取り合って環境保全を意識し、賢く生きて行かねばなりません。



世界(地球)の環境課題には、空気・水・食糧の永久の安全確保、地球温暖化問題、安全・安心の生活環境、等色々な切り口がありますが、これらと共に伝染病対策も医学が進んだ21世紀になつても更に大きな課題であることを本件が人類に突き付けているようです。

一般人の我々には、自分たちで出来る事を着実に取り組んでいくことしか現時点では無いと思いますが、今号が皆さんのお手元に届く頃には少しずつでも改善の兆しが見えて来ているよう願っています。

長岡市環境の都づくり会議代表 江川宗治



環境トピックス

(今流行の環境用語は？！) 江川宗治

パンデミック (pandemic)

ある伝染病(感染症)の世界的大流行(汎発流行)を表す語句。

語源は、ギリシャ語のパンデミア pandemia で、pan(全て)+demos(人々)と言われている。

因みに、感染症の流行は、その規模・時期に応じて
①エンデミック (endemic) 「地域流行」②エピデミック (epidemic) 「流行」という段階があつて、
③パンデミック 「汎発流行」に至ります。

ウイルスと細菌

パンデミックの原因物質新型コロナウイルスは、COV ID-19という型名がついています。専門的なことは難しいので、細菌とウイルスの違いをおさらいしておきましょう！

一番は大きさで、細菌が光学式顕微鏡で見られる約1~5μmに対してウイルスは拡大率の高い電子顕微鏡でなければ見れない約0.02~0.3μmと極小の大きさです。

二番は構造です。細菌は、細胞構造を有し、適度な栄養・水分があれば自分の力で増殖できるのに対して、ウイルスは、遺伝子もDNAもしくはRNAのどちらかしかなく、それを囲むタンパク質の殻しか持っていないので、自分の力で増殖することができないそうです。

-1-

竹林再生 PJT

竹林作業を楽しんでいます !!



今里竹林(1,700 m²)と林竹林(700 m²)の維持管理を担当して5年になります。高齢化に伴いメンバーの入替もありますが、6人の会員とマイベースながら日々心を一つにして竹林整備に汗を流しています。健康保持にも役立つ竹林の作業は気分転換にもなり、これからも頑張っていきたいと思っています。

竹林再生 PJT 江頭喜一

新メンバーに元気を貢って !!

光明寺北500mにある今里竹林は暫く人手が入らず、密生した竹と雑草の混在状態でしたが、新会員のMさんの知識と熱意、類い稀なる体力とパワーのお蔭ですっきり綺麗に間伐頂き、適度な太陽光が降り注ぐ理想的な竹林に生まれ変わりました。

焼却した竹灰も散布して、栄養豊かな元気な竹林に生まれ変わったようです。

お蔭で私も元気を貢い、健康増進のために竹林に行くのが楽しみになっています。竹林再生 PJT 前田克也

花を咲かそう PJT

正月飾りは大好評 ~今年は90基を製作~

PJT サブリーダー 奥西弘武



昨年暮れ、緑のサポーターから17人が集まり、放置竹林の孟宗竹を利用した正月飾り作りを行いました。直径20cmに近い太い竹は年々確保しづらくなっていましたが、老骨にムチ打ち、15m以上伸びた竹50本程を切り出し、竹籠に藁縄を巻き付け、昨年までより20基多い90基を作上げました。

商売ではありませんので、ワンコインの原価販売。

で、儲けはないんですうーー。

作品は立派な門扉のお宅にも飾られています。

12月9日~16日 準備作業

・間伐した孟宗竹から太いサイズを確保

・鉢の寸法に大型丸鋸で裁断

・3本竹の斜めカット、笑い竹とキット化

・竹林で栽培している松の枝を収集

・藁縄巻と材料組み込み

・抽選券、持ち帰り袋の準備

12月17日 竹林にて 頒布会

購入者 数量

環境の都メンバー 37

いきいきネット、生活会議、生活学校 36

一般市民 12

市役所などへ寄贈 5

計 90

エコ PJT

長岡第十小学校での「科学あそび」教室をご紹介します

PJT リーダー 田原誠一郎

長岡第十小学校のキッズステン(放課後子供教室)は約35の教室があり、私たちは「科学遊び」を担当しています。6年生から2年生まで各学年別のテーマで、電気を作る実験をします。

今、地球がどんどん暖かくなり(地球温暖化)、私たちが日常使うエネルギー(電気など)を大切に使うことが期待されています。簡単なグッズを使って、楽しく実験しながら電気を大切に使うことを学び、「環境にやさしい生活を身につける」ことを教室の目標としています。

実験は、グループではなく一人一人が別々にテーマに沿って自分の好きなように実験します。

子供たちは理科の実験が大好きです。教わったことだけでなく、いろいろ新しい発想を実験に取り入れていきます。これからも理科が大好きでいてくれることも楽しみにしています。

★6年生には「科学あそび博士」の認定書を、5年間ですべての実験に出席してくれた児童には皆勤賞を渡します。

学年	テーマ	内容
6年生	電気を貯める実験	手回し発電機で作った電気を小さなバッテリーに貯める
5年生	ソーラーハウス(写真参照)	牛乳パックで作った家に、ソーラーパネルと電子オルゴールを付ける
4年生	燃料電池モデル	一段目に水を電気分解して水素作り、できた水素を燃料として電気を作る
3年生	レモン電池	レモンに銅板とマグネシウムリボンを突き刺しコードでつなぐ
2年生	いろいろな発電グッズあそび	ソーラー発電、風力発電、手回し発電機などで遊ぶ

ソーラーパネル、電子オルゴール(家の中)がつけてあり、太陽光を当てると音楽が鳴ります→

-2-

参加者大募集

PJT リーダー 加藤克巳

里山再生 PJT

西山ファミリー環境探検隊

新緑が眩しい春の西山を歩いて、自然観察しませんか？たくさんの方の花や鳥や虫に出会えます。

案内は、自然観察指導員京都連絡会の皆さん。森なかま(京都府立大)のお兄さん、お姉さんも同行してくれます。

日時 2020年4月25日(土)9:30~15:00

場所 西代里山公園管理棟前集合～西山キャンプ場往復

対象 小学生とその保護者 先着15組程度

内容 春の自然観察、自然遊び

昼食はカレー、焼き焼きタイム(マシュマロ、ワインナー等)

参加費 300円

主催・申込 西山森林整備推進協議会(市役所環境政策室内)

電話: 955-9542 FAX: 951-5410

12月9日~16日 準備作業

・間伐した孟宗竹から太いサイズを確保

・鉢の寸法に大型丸鋸で裁断

・3本竹の斜めカット、笑い竹とキット化

・竹林で栽培している松の枝を収集

・藁縄巻と材料組み込み

・抽選券、持ち帰り袋の準備

12月17日 竹林にて 頒布会

購入者 数量

環境の都メンバー 37

いきいきネット、生活会議、生活学校 36

一般市民 12

市役所などへ寄贈 5

計 90

購入者 数量

環境の都メンバー 37

いきいきネット、生活会議、生活学校 36

一般市民 12

市役所などへ寄贈 5

計 90

購入者 数量

環境の都メンバー 37

いきいきネット、生活会議、生活学校 36

一般市民 12

市役所などへ寄贈 5

計 90

購入者 数量

環境の都メンバー 37

いきいきネット、生活会議、生活学校 36

一般市民 12

市役所などへ寄贈 5

計 90

購入者 数量

環境の都メンバー 37

いきいきネット、生活会議、生活学校 36

一般市民 12

市役所などへ寄贈 5

計 90

購入者 数量

環境の都メンバー 37

いきいきネット、生活会議、生活学校 36

一般市民 12

市役所などへ寄贈 5

計 90

購入者 数量

環境の都メンバー 37

いきいきネット、生活会議、生活学校 36

一般市民 12

市役所などへ寄贈 5

計 90

購入者 数量

環境の都メンバー 37

いきいきネット、生活会議、生活学校 36

一般市民 12